

施策評価表

平成29年度分

① 施策コード	5・1・3					
② 施策名	環境保全・美化活動の推進	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
③ 目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					
④ ⑤ 現状と課題	<p>◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまで様々な取り組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしなが、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>			施策の内容	地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援を行います。また、「環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取り組む人材を育てます。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
一斉清掃活動参加者数	人	2,489		2,700	2,700	2,700	2,700	
			2,342	2,530	2,672			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度	30年度(計画)	31年度(計画)
	3,464	3,920	3,630	9,879	4,165

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> 各課に対し目標達成状況や進捗状況の把握を依頼し、環境への意識の深まりと説明責任の意識の醸成に寄与した。 子供から大人まで環境活動への意識を高める機会を増やし、環境保全・美化に貢献している。 公衆衛生組合には、これまで防疫・消毒事業に留まらず、環境活動にも力を入れるよう要請し、ごみの減量化や一斉清掃などに各地区の公衆衛生組合が取り組むようになってきている。 水質事故がなく、河川環境の保全や水質の維持が図られた。 以前からの不法投棄箇所にあまり投棄されなくなった。 定期的な薬剤散布を実施し、地域の衛生環境の保全に貢献した。 	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 目標の達成状況、施策の進捗状況を公表できるようにしたい エコレンジャー参加者に記憶に残るような実施内容を検討する。ごみの分別講習会を早期に開催する。 役場に全て頼るのではなく、各地区の公衆衛生組合で問題解決していける体制を構築できるように協力をお願いしていく。 研修会等に参加し、水質事故発生時の連絡手段や対策を確認する。 監視カメラの有効な活用方法を検討していく。警察、仙南保健所と連携して対策をとる。 薬剤散布について、動噴機の整備や購入を助成するなどの対策を行っていく。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】